

◆経済倶楽部講演会第4323回（3月6日）

# 政治の季節となる2020年度 経済へのインパクト

ピクテ投信投資顧問シニア・フェロー  
市川 眞一

- \* 新型コロナウイルス問題をどう見るか
- \* 米国における民主党の勝ちパターン
- \* 懸念される民主・共和の財政拡張志向
- \* 日本の解散・総選挙はいつになるか
- \* 補正と2020年度大型予算の意味
- \* 緩和的な財政・金融がデフレを固定化
- \* ポスト安倍は石破か岸田か
- \* 期待が消えたアベノミクスの成長戦略
- \* 次期政権が背負う安倍政権のツケ
- \* 企業債務にみる米国バブル崩壊の可能性



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
本日はピクテの市川さんにおいでいただきま  
した。

コロナ問題、それからヨーロッパ、アメリカ、  
日本でそれぞれ政治的な問題がいろいろかかわ  
ってきております。そういう中で、2020年  
の経済問題については昨年までとは少し違った  
様相を呈するというところでして、いわばこうい  
った政治の季節になってきている中で経済はど  
うなるか、そこら辺を市川さんにお話しいた  
きたいと思えます。

市川さんは63年のお生まれで、明治大学をこ  
卒業後、和光証券、クレディ・リヨネを経まし  
て、現在はピクテと、それから独立して事務所  
もお持ちでございます。途中で事業仕分けの評

価もされたということで、いわゆる政治の世界  
にも少しご造詣がありますので、そういったこ  
とも含めて、現況、将来の展望についてお話し  
いただきたいと思えます。ではよろしくお願  
いいたします。

## 新型コロナウイルス問題をどう見るか

市川 こうしてご紹介いただくときに、事業  
仕分けの仕分け人をしていたというのはいまだ  
に言われておりますが、あれは2009年から  
12年までのことでありまして、もう随分昔のこ  
とで、やはり仕分けというのはインパクトが大  
きかったなというのは改めて今感じた次第です。  
「政治の季節となる2020年度 経済への  
インパクト」というお話を中心にさせていた